



大田区立馬込第二小学校

学校だより

令和三年 三月号

### 新しい生活様式の中で

校長 雨笠 常宣

令和二年四月六日、桜の花が満開の中、一学期の始業式を例年通り行いました。その前に新しい先生方をお迎えしてのあいさつ、新たな学級、クラス替えをして新しい友達との出会い、そして、担任の先生の発表と極々これまでの新学期のスタートをしました。しかし、これからが今までにない様々なことが始まりました。入学式。

晴天の中で満開の桜を後ろに校庭に並べられた椅子に新一年生の子どもたちが互いに距離を置きながら座って入学式の始まりを待っていました。保護者の皆様には、子どもたちを後ろから見守るように式に参列しました。例年のように体育館で行うことなく、そして、新一年生の歓迎のアトラクションもなく、式を終えました。

四月七日 五月末までの臨時休業。前代未聞です。長い間教員生活をしてきて、始業式、入学式の次の日から学校が休みになることはありませんでした。しかも、二ヶ月の間。

新学期を迎えた子どもたちは、進級した学年として学校生活を楽しみにしていました。今回のコロナウイルス感染症の驚異は、私たち大人だけでなく、子どもたちにも不安を与え続けてきました。六月

から実質の一学期が始まりました。ここでも、分散登校や時差登校としての学校生活。新しい生活様式という言葉が学校でも使われるようになりました。皮肉にも、これまで以上に手指の消毒、こまめな手洗いを一人ひとりが意識してきました。ハンカチの忘れ物が少なくなったのも事実です。

授業時数の確保から、一学期の終了が八月七日、二学期の始まりが、八月二十四日でしたので、夏休みが十日間しかありませんでした。夏の日差しが強く、熱中症対策も同時に講じながらの学校生活を送ることとなりました。

二〇二〇年は、世界中で東京五輪、パラリンピックを実施する予定でしたが、すべてが延期となり、東京での開催がこれまでに二度、予定していた時期に中止（一九四〇年日中戦争の影響を受け、開催権を返上）や今回の延期となりました。

今年の夏の開催を楽しみにしたいものです。三学期も二日早い、一月六日に始業式を迎えました。令和三年の新しい年を迎え、コロナウイルスの落ち着きと願っていましたが、緊急事態宣言が発出され改めて予防策を講じることとなりました。今年度は、今もなお、緊急事態宣言が発動されている中、今年度、最後の月を迎えました。振り返れば、一年間、ずっとコロナ禍での新しい生活様式を取り入れ、学校、家庭、地域が毎日を過ごしてきました。

ようやく、ワクチン接種を受けることができる状況まであと少しとなりました。新年度は、これまでの生活に戻し、安心して学習をしたり、友達同士で笑顔が絶えない学校生活を送ったりしてほしいと願うばかりです。

タブレットを活用した学習を本格化することも来年度の課題として取り組み必修内容となります。PTA役員、各部員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様には、今年度の学校運営にご理解ご協力をいただき深謝いたします。来年度もどうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。コロナ禍の折り、どうぞ、ご自愛ください。

### 日頃の学習の成果を発表する会について

学芸会委員会

今年度は、コロナ感染症拡大に伴い、学芸会ではなく、各学年で日頃の学習の成果を発表する会を行います。

一年生は、国語・生活の学習から、一年間の学習のまとめとして「たのしかったよ 1年生」、音楽から器楽合奏「こいぬのマーチへんそうきよく」を発表します。一人ひとりが発表する姿や音の重なりとリズムの変化を楽しみながら演奏する様子をお楽しみください。

二年生は、生活科「広がれわたし」の学習のまとめとして、得意技の発表会をしました。本番では、できるようなったことや頑張っていることを堂々と発表することができました。

三年生は、劇「続・きつつきの商売」を発表しました。子どもたちが、国語で学習した「きつつきの商売」の続きの話をづくり、手作りの衣装を着て表情豊かに演じました。

四年生は、テーマ別発表と器楽合奏「アラジンメドレー」を発表します。子どもたちが自分でテーマを決めてグループごとに発表します。

五年生は、音楽劇「ライオンキング」を発表します。「ライオンキング」の名シーンあり、名曲あり、一人ひとりが自分の役割を精一杯表現します。

六年生は、器楽合奏「キセキ」を発表します。自分たちが選曲した「キセキ」の曲に、卒業を迎える自分たちの思いを込めて、心を合わせて演奏します。

若竹学級は、音楽発表を中心とした「まとめの会」を行います。一く六年生全員で「気球に乗ってどこまでも」の合奏と六年生の和太鼓演奏「ぶち合わせ太鼓」が見どころです。

保護者の皆様には、日程変更等、ご迷惑をおかけ



しました。子どもたちの発表の様子は、発後日ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

## 道徳教育について

### 道徳担当



「どうして、こんなことを言っちゃったんだろう。」  
「早く謝らなくちゃ。」

これは、道徳の時間に、「けんかをした登場人物」の気持ちを考えて「子どもたちの声」です。

道徳の時間は、

- (1) 道徳的価値を理解する。
- (2) 自己を見つめる。
- (3) 物事を多面的・多角的に考える。
- (4) 自己の生き方についての考えを深める。

この四つの視点から道徳性を養うことをねらいとする「心の教育」の時間です。道徳性の評価の基盤は、教師と子どもたちの人格的なふれあいによる共感的な理解が存在することが重要です。そのため、私たち教師は、子どもたちの成長を見守り、努力を認めたり励ましたりすることによって、子どもたちが伸びやかに自ら考えたことや感じたことを言えるように、日々指導を工夫し模索しているところです。

また、道徳の評価は、児童が自ら自分の成長を実感することができたか、他の児童との比較による絶対評価ではなく、児童がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価です。そのため、数値による評価ではなく「道徳の所見」として、一年に一度記述式で評価をしています。

今年度は、「道徳授業地区公開講座」が開催できませんでしたが、各クラスより、書面での実践報告をさせていただきます。道徳の授業だけではなく、日々、子どもたちと触れ合う中で、道徳心を養っていきます。

## 3月の行事予定

日	曜日	放課後遊び (5・6年)	
		補習教室 (3～6年) ↓	
1	月	委員会(時間縮小 15時頃下校)	
2	火		5.6 ○
3	水	全学年5時間授業	
4	木		3.4 ○
5	金		○
6	土		
7	日		
8	月	保護者会(若竹) 日頃の学習の成果を発表する会(若)	
9	火	保護者会(3) 日頃の学習の成果を発表する会(3)	5.6
10	水	保護者会(2・5)安全指導 日頃の学習の成果を発表する会(2・5)	
11	木	保護者会(4) 日頃の学習の成果を発表する会(1・4)	3
12	金	保護者会(6) 日頃の学習の成果を発表する会(6)	
13	土	特別時程 土曜授業日(3時間) 金管ミニコンサート 下校(11:10)	
14	日		
15	月	保護者会(1)	
16	火		5.6 ○
17	水		
18	木		3.4 ○
19	金	卒業式予行(56校時) 午前授業(1～5年) 6時間授業(6年)	
20	土	春分の日	
21	日		
22	月	給食終了	
23	火	午前授業	
24	水	卒業式	
25	木	修了式 午前授業	
26	金	春季休業日(始)	
～			
4/5	月	春季休業日(終)(新6年生 前日準備)	
4/6	火	始業式 入学式	

### 三月の生活目標



きれいな教室にしよう

引っ越しなどにより、他校に転出することが決まったら、至急学校にお知らせください。

### スクールカウンセラー来校日

お気軽にご相談ください。  
担任、養護教諭、または、スクールカウンセラー専用携帯電話へ相談予約をお願いします。

**080-5977-6167**  
(相談日をお願いします)

川端(火)	金山(木)	
	4日	9:00～16:00
10日	11日	9:00～16:00
17日	18日	9:00～16:00
1回30分間 初回50分間		